

鎌倉の
温古堂
創業一七〇周年

フーデナムナム
0467(22)七六七六

仏壇・仏具・御宮
神具・香・香炉

4月1日号
2017年(平成29年)
第457号
毎月1日発行
(一部税込108円)
朝日新聞の姉妹紙
http://kamakura-asahi.com

鎌倉朝日

発行所 鎌倉朝日新聞社 ☎0467-24-8553 FAX23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町2丁目8番13号 2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉 峰本
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

鎌倉 鎌倉

みほとけ紀行 (69)

建長寺塔頭・正統院 十二神将像

サクラが咲こうか咲くまいか迷うような花冷えの朝、建長寺の境内奥、塔頭「正統院」さまを訪ねた。本堂正面には建長寺第十四世高僧白像が修復を終えた凛々しいお姿で坐られています。本堂の方丈の内陣の中心に仏像ではない開山像がまつられていて、そのかたにも権寺の風情で

建長寺塔頭・正統院 十二神将像

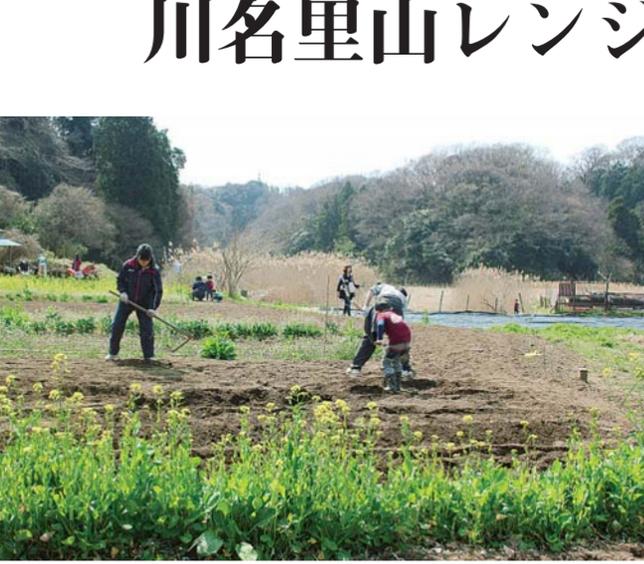
十二神将は衆生を病から救う薬師如来の十二の分身の信者の方が正統院へ寄贈された「みほとけ」なのだそう。

十二神将は衆生を病から救う薬師如来の十二の分身の信者の方が正統院へ寄贈された「みほとけ」なのだそう。

十二神将は衆生を病から救う薬師如来の十二の分身の信者の方が正統院へ寄贈された「みほとけ」なのだそう。

藤沢の谷戸の保全と自然体験

川名里山レンジャー隊



川名清水谷戸の畑を耕す川名里山レンジャー隊

藤沢の新林公園の隣にある川名清水谷戸で保全活動をしている「川名里山レンジャー隊」の月例会が3月19日行われ、地元の子供や大学生など約50人が参加した。

同隊は「川名清水谷戸」001年に名称を変更しを愛する会(1992年)活動を開始。谷戸の環境を保全活動として毎月畑で野菜作りなどの農作業をして、川名緑地全体を残している。

15年ほど前から巨大生

物産科学部学園祭で、収穫した野菜で作った「谷戸の豚汁」を販売し、収益を藤沢市みどり基金に寄付している。昨年は約10万円寄付した。この谷戸は、子どもたちの自然体験の場ともなっていて、市立川名小学校の総合学習の授業「谷戸探検」では、18年前から同隊が企画運営を担い、3年生全員が谷戸に案内している。

3月の保全活動では、大人や学生たちがジャガイモやサトイモの植え付け、堆肥の切り返しなどの作業をした。昼食用の長ネギや菜の花の収穫は幼児たちも保護者といっしょにお手伝い。そのあと子どもたちは周りの原っぱで木登りをしたり、棒切れを拾ってチャンバラごっこをしたりして駆け回りの、子育て中の母親

様で、和尚さまが修行された京都大徳寺と縁ある信者の方が正統院へ寄贈された「みほとけ」なのだそう。

十二神将は衆生を病から救う薬師如来の十二の分身の信者の方が正統院へ寄贈された「みほとけ」なのだそう。

十二神将は衆生を病から救う薬師如来の十二の分身の信者の方が正統院へ寄贈された「みほとけ」なのだそう。



鎌倉の玄関口に「CIAL鎌倉」新装開店

昨年10月から改装工事をしてきたJR鎌倉駅ビルが3月22日、「CIAL鎌倉」としてリニューアルオープンした。

CIAL鎌倉は、7店舗を新規に加え13店舗が2階建ての1階に出店。2階建ての1階に

湘南・鎌倉の銘菓などの土産物店とコンビニ、2階に飲食店がある。

運営する横浜ステーションビル・荒井社長は「地元の人にも観光客にも愛されるスポットにしたい」と語ったII写真。

は温かな日差しの下で赤ちゃんをあやしむながら作業を見守っていた。

屋敷時には新で焚いたご飯と収穫した野菜入りの味噌汁を、子どもたちは何杯もお代わりして自然の恵みを満喫した。

農機具を寄付してくれたご夫妻との縁で、3年前から東日本大震災の原

川名の谷戸の保全活動は月1回。活動参加費兼屋敷代大人300円、誰でも参加できる。活動日などの問い合わせは同事務局・八幡方 yatonet@nbc.nifty.com ホームページも。

発事故の被災地・福島県田村市へ出かけて交流も行っている。

梅の花
はなもん

井上蔭孫店

http://www.inouekamaboko.co.jp/

鎌倉の年中行事

4月

- 若宮例祭 3日10時、鶴岡八幡宮。
- 釈迦如来立像開扉 7・8・9日極楽寺。
- 灌仏会(花祭り) 8日、各寺院。
- 忍性塔公開 8日10時、極楽寺。
- 丸山稲荷社例祭 9日、鶴岡八幡宮。
- 鎌倉まつり 9・16日、流鏝馬16日鶴岡八幡宮。(6面にご案内)
- 義経まつり 15日、満福寺。(7面にご案内)
- 鎮大師正御影供大祭 15日青蓮寺。

れる像もあるのです。それぞれの立場で我々の苦悩や迷いをいっしょに見守ってくたさってくださるのだと思うと心強くなりまします。

奇木造、玉眼。像高約83cm。詳細不明。(N)

1日約2500冊の新しい本が日本国内で発売されています。これだけ多くの本が毎日誕生するので、全くの本を眺み切ることは難しいです。まして個人で蔵書することとは困難です。そんな中、鎌倉市民も横浜市立図書館で本が借りられるようになりました。鎌倉市の蔵書数約55万冊に対して、横浜市の蔵書数は約4百万冊です。置かれている本はどれも一緒にいろいろな書店の撤退が余儀なくされている昨今で、図書館としても同様のことが言われる時代になるのでは、と考えます。

鎌倉市の図書館としての特長や特長を、蔵書内容や利活用方法等で工夫してみたい機会にもなるのでは、と期待しています。(N)

鎌倉の街並と日本人の心に馴染む家づくり

KAMAKURA STANDARD

戸井田工務店

〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町5-5-9
TEL.0467(24)7777(代) FAX.0467(24)7005
http://www.kamakura-standard.com

鎌倉発 ラジオ・映画を通して、伝えたい“声”を届けます

言葉の持つ力を、想いを、地元の高校生達と届けます。

コトダマラジオ

Kamakura FM × きみの声をとどけたい

毎週水曜 23:00~23:30 鎌倉FM 82.8MHz

4.5 ON AIR

届けたい“声”大募集!

ラジオを通して届けたい、あなたのメッセージ&エピソードをお送りください。

詳しくはこちら! kimikoe.com/kotodamaradio

きみの声をとどけたい 2017.8 全国ロードショー

Kamakura City Kawakita Film Museum

特別展

鎌倉映画地帯

2017年3月17日(金)~7月2日(日)

特別観覧料: 一般 300円、小・中学生 150円

鎌倉市川喜多映画記念館

鎌倉市雪ノ下2-2-12 TEL:0467-23-2500

イラストレーション / 宮崎祐治 主催 / 川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)